

令和7年度 栄南中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン「めざす15の春の姿」
元町北小学校 栄南小学校 栄南中学校

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和とれた育ち」の充実を図る

9年間を通した
子どもの学びのつながり

子ども理解・生徒
指導の連続性

推進の
重点

教職員の
連携・協働

家庭や地域との
関わり

児童・生徒の実態と育てたい力

【元町北小】

- 友達と話したり体を動かしたりすることを好む。
- 指示されたことには真面目に取り組む。自ら問題を見つけ、判断したり解決したりしようとする態度や意欲を育てる必要がある。
- 知識や理解などの基礎的な力はやや劣り、思考力や判断力は個人差が大きい。目標をもち、計画的に学習する姿勢を育てたい。

【栄南小】

- 学習に対しての興味・関心がある。発展的思考や新たな問題を解決しようとする主体性や意欲を育てたい。
- 基本的な生活習慣が定着していて、集団生活を営むための基礎や思いやりの心がある。自主性、根気強さ、規範意識、ボランティア精神を育てたい。

【栄南中】

- 決められたことについては概ねできているが、自らが課題設定や課題解決を進めていく、主体性を育てたい。
- 困難なことに対し、解決していこうとする意欲・粘り強さ、挑戦するたくましさ育てたい。
- 授業等を通し、コミュニケーション力や協働性を育てたい。

保護者・地域の願い

- 友達と仲良く元気に過ごしてほしい。
- 安全で安心できる学校。
- 基礎的な学力の定着とそのためのフォロー。
- 子どもたちが活躍できる充実した学校行事

- ・青少年健全育成推進会
- ・連合町内会
- ・地域学校協働活動推進事業（栄南小）
- ・学校公開（行事、授業）
- ・学校説明会
- ・SMSの会

栄南中学校区 目指す子どもの姿

自ら学びをすすめ、創造性豊かに自己の未来を切り拓いていく（児童・生徒）

- 自ら考え、仲間と協力して、主体的に学ぶ（児童生徒）
- 仲間を思いやり、自分を大切にする（児童生徒）
- 夢や志をもち、失敗を恐れずに挑戦できる（児童生徒）

札幌市の

「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る。

- 1 9年間を通した子どもの学びのつながり
- 2 子ども理解・生徒指導の連続性
- 3 教職員の連携・協働
- 4 家庭や地域との関わり

教職員の連携・協働

- 授業参観、授業交流、出前授業、共同授業
- 情報交流、行事参観
- 合同研修会（教科外・教科）

共通の理念

栄南中学校区は、小中での教育を一貫・連携させることを通して、地域を愛し、よりよい社会を創る児童生徒を育成する目標を共有し、地域に根ざした主体的な学びを推進し、心の豊かさを醸成し、地域と連携・共同しながら、未来の担い手として必要な資質・能力を育む。「地域で育ち、地域を育てる」

共有のビジョン

栄南中学校区での一貫・連携した教育により、子どもの自己肯定感を高めるとともに、多様な価値観を認め合う心を育みながら、仲間や地域とのつながりも深めていく。創造性豊かに自己の未来を拓くために、自ら主体的に学びながら、失敗を恐れずに様々なことに安心して挑戦できる環境を整える。

～7つのチームでともに育む 知・徳・体～

学ぶ力の育成

A:対話・交流など
表現力の育成

- 【一貫性を持たせる共通の取組】
- ・chromebook 等を活用した表現活動の充実
- ・語彙力を向上させる活動の充実

B:家庭学習等の学習習慣や
自己調整力の育成

- 【一貫性を持たせる共通の取組】
- ・児童生徒が学習に主体的に取り組む教師の関わり
- ・発達段階に適した学習方法の例示

豊かな心の育成

C:いじめ・不登校への対応

- 【一貫性を持たせる共通の取組】
- ・一貫性のあるいじめ防止基本方針
- ・一貫性のある不登校支援

D:発達段階を踏まえた
ネットモラルの育成

- 【一貫性を持たせる共通の取組】
- ・共通のカリキュラム
- ・児童、生徒が参加、体験できる授業や指導の工夫

健やかな体の育成

E:生活習慣及び生活規律

- 【一貫性を持たせる共通の取組】
- ・朝食摂取率の向上
- ・定時にネットオフ／電源オフ

F:運動習慣の定着

- 【一貫性を持たせる共通の取組】
- ・運動機会の創出と共に親しむ大人の関わり
- ・運動意欲を引き出す ICT 活用

G:特別支援教育

【一貫性を持たせる共通の取組】

- ・中学校卒業後の進学を目指すための基本的な力の育成
- ・他者を認め合える子の育成

■ 今年度の具体的な取組（推進計画）

小学校と中学校の教職員が「チーム」となり、9年間の学びを支えるため…

- 合同研修会の実施
 - ・授業づくりや目指す子どもの姿などを交流し、「チーム」としての連携を深める
 - ・子どもの学ぶ視点から各学校の教育課程（行事）について交流し改善を図る
- 小学校と中学校が校種を超えて授業参観を行い、相互理解を図る

● 「小中一貫した教育」を推進するための各会議の設定

- ・校長会 ・学校担当者会議 ・卒業学年の引継ぎ
- ・「学ぶ力」育成プログラムについての検討会議等
- 小学校と中学校の児童・生徒どうしの交流機会の促進
 - ・小学生の「中学校訪問」（授業見学）や部活動の体験・見学等